

# 奈良国立文化財研究所要項

## I 事業概要

### 1 研究普及事業

#### 公開講演会

- (1) 1983年5月21日 第53回公開講演会  
「7世紀における同范軒瓦について」  
山崎 信二  
「高句麗の都城」 千田 剛道
- (2) 1983年11月19日 第54回公開講演会  
「飛鳥の氏寺—山田寺を中心に—」  
岩本 正二  
「古代庭園の植栽について」 高瀬 要一

#### 現地説明会

- (1) 1983年6月18日 平城宮跡第149次発掘調査  
(平城京右京八条一坊十一坪) 巽 淳一郎
- (2) 1983年7月2日 平城宮跡第150次発掘調査  
(第一次朝集殿推定地) 深沢 芳樹
- (3) 1983年7月16日 山田寺跡東回廊発掘調査現地見学会
- (4) 1983年9月10日 平城宮跡第152次発掘調査  
(第二次大極殿閤門・回廊地区) 内田 昭人

- (5) 1983年10月15日 石神遺跡発掘調査  
清水 真一
- (6) 1983年11月12日 藤原宮跡第37次発掘調査  
(西面中門) 菅原 正明
- (7) 1983年12月24日 平城宮跡第153次発掘調査  
(第二次大極殿東回廊地区) 松井 章
- (8) 1984年1月26・27日 称徳天皇山荘伝承地発掘調査現地見学会
- (9) 1984年3月24日 平城宮跡第154次発掘調査  
(内裏東方官衙地区) 松村 恵司

#### 平城宮跡資料館・覆屋公開

- (1) 春季特別公開 1983年4月23日～5月5日  
見学者 14,245名
- 秋季特別公開 1983年10月22日～11月6日  
見学者 18,925名
- (2) 見学者数

区 分	資料館	覆 屋	計
1983年	65,322	46,515	111,837
累 計	573,620	927,129	1,500,749

資料館は1970年度、覆屋は1968年度以降の累計

## 2 1983年文部省科学研究費補助金による研究

種 別	研 究 課 題	研究代表者	交 付 額
一 般 研 究 B	先史時代の漆製品に関する基礎的研究	工 築 善 通	1,200千円
	古代埋蔵建築遺材の復原的研究	宮 本 長二郎	1,600
	古代における水産物の生産と用途に関する研究	狩 野 久	6,400
	古代武具の研究	猪 熊 兼 勝	1,300
	中世近世における建造物修理の技法に関する研究	岡 田 英 男	1,500
一 般 研 究 C	墨書土器による律令機構末端組織の復原的研究	森 郁 夫	300
	古墳及び奈良・平安時代における土器製作技術の復原的研究	西 弘 海	600
	古代地方官衙遺跡の研究—郷関係官衙遺跡を中心として—	山 中 敏 史	1,400
奨 励 研 究 A	北部九州地方における弥生時代後期土器の編年的研究	岩 永 省 三	500
	古代末・中世における焼塩壺の研究	岩 本 正 二	900
	弥生時代前期における木葉紋と流水紋の検討	深 澤 芳 樹	800
試 験 研 究 (1) 研 究 成 果 刊 行 費 (データ・ベース)	日本庭園における眺望行為の類型について	本 中 真	1,000
	埋蔵文化財データ・ベースの開発研究	坪 井 清 足	6,400
	航空写真情報	坪 井 清 足	3,380
計	14件		27,280

## 3 飛鳥資料館の運営

- 展 示 第一展示室 常設展示  
第二展示室 特別展示「渡来人の寺」

(1983. 4. 22～1983. 5. 29)  
特別展示「飛鳥の水時計」  
(1983. 10. 5～1983. 11. 23)

普及

前年同様インフォメーションルームで観覧者の質問に応じている。また特別展示のカタログとして「渡来人の寺」及び「飛鳥の水時計」を刊行した。

入館者数（1983. 4. 1～1984. 3. 31開館日数 315日）

	普通観覧	団体観覧	有 料	無 料	合 計
一 般	46,244	29,863	204,344	10,595	214,939
高・大	15,483	30,111			
小・中	16,180	66,463			
計	77,907	126,437			

模造製作

古法華（兵庫県加西市）

4 埋蔵文化財センターの研修・指導

研 修 埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

- (1) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（集落遺跡調査課程）  
1983年5月11日～5月24日（参加者26名）
- (2) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等特別研修（特殊調査技術課程）  
1983年6月17日～6月22日（参加者27名）
- (3) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等一般研修

（一般課程）

- 1983年7月25日～8月27日（参加者23名）
- (4) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（遺跡測量課程）  
1983年9月16日～10月5日（参加者16名）
- (5) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（遺跡保存整備課程）  
1983年10月13日～10月27日（参加者28名）
- (6) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等特別研修（埋蔵文化財基礎課程）  
1983年11月4日～11月9日（参加者32名）
- (7) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（保存科学基礎課程）  
1983年11月16日～11月30日（参加者16名）
- (8) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（中近世遺跡調査課程）  
1983年12月6日～12月16日（参加者30名）
- (9) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（環境考古課程）  
1984年1月18日～2月3日（参加者19名）
- (10) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（保存科学応用課程）  
1984年2月16日～2月23日（参加者19名）
- (11) 昭和58年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（発掘調査関連技術課程）  
1984年3月8日～3月22日（参加者17名）
- (12) 研修員受入れ（一覧表）

氏 名	所 属	受入れ期間	受 入 れ 室	研修指導内容
保 坂 康 夫	山梨県埋文センター文化財主事	1983. 1. 17～ 1983. 2. 19	遺物処理研究室	鉄製品保存処理技術
山 田 成 洋	静岡県教委文化課指導主事	1983. 2. 14～ 1983. 2. 26	同 上	鉄製品木製品の保存処理
岩 淵 一 夫 初 山 孝 行 木 村 等	(財)栃木県文化振興事業団職員	1983. 2. 23	同 上	木製品金属製品の保存処理
田 熊 清 彦 大 橋 泰 正 中 野 夫人	同 上	1983. 3. 8	歴史研究室	木簡の処理方法
工 藤 利 章	(財)岩手県埋文センター	1983. 3. 10～ 1983. 3. 11	遺物処理研究室	遺構遺物の保存と管理方法
中 西 正 典	三重県教委県外研修生（度会郡玉城町立下外城田小学校教諭）	1983. 7. 1～ 1983. 7. 24 1983. 8. 28～ 1983. 9. 30	平城宮跡発掘調査部	発掘調査技術
中 山 暁	同上(上野市立崇廣中学校教諭)	1983. 8. 1～ 1983. 10. 30	飛鳥藤原宮跡発掘調査部	同 上
井 藤 正 文	同上(一志町立一志中学校教諭)	1983. 8. 1～ 1983. 10. 30	同 上	同 上
スーザンチアス ウンツァング	米デラウェア大学ウィントア博物館保存科学学校インターン	1983. 7. 9～ 1983. 8. 31	遺物処理研究室	保存科学実習
金 炳 虎	韓国文化財管理局文化財研究所保存科学研究室化工技士	1983. 8. 1～ 1983. 9. 27	同 上	出土木材・遺構の保存処理

蔡 鳳 書	中国山東大学歴史学部助教授	1983. 10. 3～ 1983. 10. 29	集落遺跡研究室	発掘調査法
松本 敏 三 岩 橋 考	瀬戸内海歴史民俗資料館職員	1983. 10. 6	遺物処理研究室	遺物保存処理
奈良 美 穂	奈良市埋文センター技師	1983. 10. 17～ 1983. 12. 24	同 上	同 上
涌坂 周 一	羅臼町教委学芸員	1983. 11. 9～ 1983. 11. 18	遺物処理研究室	岩花木製品の保存処理
木村 正 泰 中大 野 泰 夫	(財)栃木県文化振興事業団職員	1984. 2. 24	平城宮跡発掘調査部	平城宮出土瓦について
国生 尚	(財)岩手県埋文センター主任専門調査員	1984. 3. 1	平城宮跡発掘調査部 飛鳥藤原宮跡発掘調査部	建築遺構による上部構造の特定・山田寺回廊部材
高橋 正 義	岩手県立博物館資料管理係長	1984. 3. 15	埋文センター教務室	資料管理システムについて
茂山 護	宮崎県総合博物館埋文センター主任	1984. 3. 22	情報資料室	埋蔵文化財の整理収蔵にともなう情報処理について
大石 佳 弘	焼津市埋文調査事務所調査員	1984. 3. 25～ 1984. 3. 29	平城宮跡発掘調査部	遺跡遺物の写真撮影

発掘調査・整備・探査指導

(北海道)松法川北岸遺跡, (青森県)垂柳遺跡, (岩手県)毛越寺庭園, 志波城跡, (宮城県)陸奥国分寺跡, (秋田県)払田柵跡, (福島県)慧日寺跡地内徳一廟塔, 関和久上町遺跡, (茨城県)七反田遺跡, 神野向遺跡, 虎塚古墳, 長町遺跡, (栃木県)下野薬師寺跡, 下野国府跡, 聖山公園遺跡, (群馬県)三ツ寺I遺跡, 上野国分寺跡, 鳥羽遺跡, 宇通遺跡, (東京都)前田耕地遺跡, (神奈川県)小田原城跡城米曲輪, (新潟県)横流山遺跡, (富山県)じょうべのみ遺跡, 流通業務団地21遺跡, (石川県)真脇遺跡, (福井県)朝倉氏遺跡, (山梨県)寺木廃寺跡, (長野県)森将軍塚古墳, 松本城二の丸庭園, 信濃国府跡, 中島B遺跡, (静岡県)横須賀城跡, 柏谷横穴群, (愛知県)吉胡貝塚, 尾張国府跡, 勝川廃寺遺跡, (三重県)草山遺跡, (滋賀県)西浜遺跡, 石山貝塚, 彦根城跡, (京都府)鶏冠井遺跡, 丹波国分寺跡, 物集女車塚古墳, 太鼓山窯跡, 蟹ヶ坂瓦窯跡, 千代川・桑寺遺跡, 松花堂跡慈照寺庭園, (大阪府)大塚古墳, 難波宮跡, 海会寺遺跡, (兵庫県)中山荘1号墳, 辻井遺跡, 三ツ塚廃寺跡, 丹波国大山荘, 赤穂城本丸跡, 山垣遺跡, 篠山城二の丸跡, 処女塚古墳, 広渡廃寺跡, 箕谷二号墳, (奈良県)飛鳥水落遺跡, 新沢千塚古墳, (和歌山県)岩橋千塚古墳, 箱谷古墳群, 尾ノ崎遺跡, 田屋遺跡, 上野廃寺跡, (鳥取県)因幡国庁跡, (島根県)大念寺古墳, 山代郷正倉跡, 朝日たたら跡, 高畑遺跡, 石見銀山遺跡, 岡田山古墳, (岡山県)旭川放水路第1微高地, 美和山古墳, 中宮1号墳, (広島県)草戸千軒町遺跡, (山口県)大内遺跡, 須佐唐津窯跡, 中ノ浜遺跡, 長門深川古窯跡, 延

行条里遺跡, (香川県)讃岐国分寺跡, (愛媛県)伊予国府跡, (福岡県)大宰府跡, 愛宕遺跡菜園場窯跡, 鋤先前方後円墳, 城内遺跡, 珍敷塚古墳, 牛頸古窯跡群, 金隈遺跡, (佐賀県)丸山古墳, (大分県)伊藤田地区古代窯跡, (宮崎県)土器田横穴, 宮崎学園都市遺跡, 西都原古墳群, (鹿児島県)薩摩国分寺跡, 王子遺跡, 橋牟礼川遺物包蔵地, (沖縄県)トウグル浜遺跡, 今帰仁城埋蔵文化財ニュース刊行

第41号 陶硯関係文献目録

第42号 埋蔵文化財関係報告書一覧

第43号 手持カメラによる写真測量

第44号 行政データ・埋蔵文化財関係記事一覧

第45号 遺構の保存科学

第46号 金属製遺物の接着・補填材料

5 その他

委員会等

第10回飛鳥資料館運営協議会

1983年5月23日 於飛鳥資料館

平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会

1983年6月10日・11日 於平城宮跡資料館講堂  
条里制研究会(第3回)

1984年1月24日・25日 於平城宮跡資料館講堂  
外国出張

町田 章 文部省在外研究員として華南地方における新石器時代遺跡の研究のため中華人民共和国へ出張

1983年4月8日～同年4月27日

伊東太作 文部省在外研究員として写真測量の文化財への応用研究のためオランダ, 連合王国, フランス, シンガポール, ベルギーへ出張

1983年10月15日～同年12月11日

岡田英男 古代寺院発掘調査と建造物保存修理に関する技術交換のため大韓民国へ出張

1983年11月7日～同年11月14日

協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが、1983年度の状況は下記の通り。

区 分	面 積	金 額
1983年度	14,170,22m <sup>2</sup>	330,249,587円
国有地合計	270,781,02	5,598,085,197

II 図書及び資料

図書 72,718冊

区 分	種 別	購 入	寄 贈	計
58年度	和 漢 書	1,576	3,988	5,564
	洋 書	260	58	318
累 計	和 漢 書	34,961	32,940	67,901
	洋 書	4,122	695	4,817

写真 259,143点 (1983年度末現在)

III 研究成果刊行物

1 1983年度刊行物

	各	称
史 料	第26冊	東大寺文書目録第6巻
基準資料	第9冊	瓦編9
図 録	第10冊	渡来人の寺—楡隈寺と坂田寺—
	第11冊	飛鳥の水時計
	第12冊	小建築の世界—埴輪から瓦塔まで
報告書等		条里制の諸問題II
		飛鳥資料館案内(再版)
		平城宮出土軒瓦型式一覧(補遺篇)
		昭和57年度平城宮跡発掘調査概報
		平城宮発掘調査出土木簡概報16
		遺跡整備資料III
		平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告
		平城京左京二条二坊十三坪の発掘調査
		平城京左京四条二坊一坪発掘調査報告
		飛鳥・藤原宮発掘調査概報13
		藤原宮出土木簡6

2 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名	称
1954	第1冊	仏師運慶の研究
	第2冊	修学院離宮の復元的研究
1955	第3冊	文化史論叢
1956	第4冊	奈良時代僧房の研究
1957	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊	中世庭園文化史
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊	文化史論叢II
	第9冊	川原寺発掘調査報告
1960	第10冊	平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
	第11冊	院家建築の研究
1962	第12冊	巧匠安阿弥陀仏快慶
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察
1963	第14冊	レースと金亀舍利塔に関する研究
	第15冊	平城宮発掘調査報告II 官衙地域の調査
1965	第16冊	平城宮発掘調査報告III 内裏地域の調査
	第17冊	平城宮発掘調査報告IV 官衙地域の調査
1967	第18冊	小堀遠州の作事
	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物製の成立
1971	第21冊	研究論集I
1973	第22冊	研究論集II
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告IV 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告一
1975	第25冊	平城京左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告VII
1976	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告I
	第28冊	研究論集III
1977	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告一
	第30冊	五条一町並調査の記録一
1978	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告II
	第32冊	研究論集IV
1979	第33冊	イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告IX
1980	第35冊	研究論集V
	第36冊	平城宮整備調査報告I
1981	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告III
	第38冊	研究論集VI
1982	第39冊	平城宮発掘調査報告X
	第40冊	平城宮発掘調査報告XI

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集(複製)
1955	第2冊	西大寺寂傳伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡1 凶版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編2
1969	第5冊	平城宮木簡1 解説(別冊)
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 凶版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 凶版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 凶版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 凶版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅰ

奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名	称
1973	第1冊	瓦編1 解説
1974	第2冊	瓦編2 解説
1975	第3冊	瓦編3
1976	第4冊	瓦編4
	第5冊	瓦編5
1978	第6冊	瓦編6
1979	第7冊	瓦編7
1980	第8冊	瓦編8

飛鳥資料館図録

年度	名	称
1976	第1冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊	日本古代の墓誌
1978	第4冊	日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊	古代の誕生仏
1979	第6冊	飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—
1980	第7冊	日本古代の鷄尾
1981	第8冊	山田寺展
1982	第9冊	高松塚拾年

IV 定員

区分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1983年度	1	22	5	67	95
1984年度	1	22	4	67	94

V 予算(1983年度)

人件費	453,378千円
運営費	629,888
事業管理	4,231
一般研究	55,348
特別研究	1,602
発掘調査	397,063
宮跡整備管理	53,243
飛鳥資料館運営	46,557
埋蔵文化財センター運営	42,006
新庁舎維持管理等経費	29,838
施設費	330,466
施設整備費	25,118
平城宮跡等整備費	305,348
各所修繕費	10,985
計	1,424,717

VI 施設

土地(当所所管) 27,375m<sup>2</sup>

本庁舎 8,860m<sup>2</sup> 飛鳥資料館 17,092m<sup>2</sup>

飛鳥資料館宿舎 1,343m<sup>2</sup> 郡山宿舎 80m<sup>2</sup>

(文化庁所管) 1,313,492m<sup>2</sup>

平城宮跡地区 1,037,670m<sup>2</sup>

藤原宮跡地区 270,781m<sup>2</sup>

飛鳥稲刈宮殿跡地 5,041m<sup>2</sup>

建物(1)

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	藤原宮跡	計
	m <sup>2</sup>					
事務室	568	138	116	90		912
研究室	1,419	252	274	77		2,022
資料書	1,021		36	36		1,093
会議室	338	64	53	42		497
講堂		384		89		473
展示室		576		648		1,224
写真室	79	256	61	64		460
覆屋・棟		1,686				1,686
車庫	84	200	204	94		582
倉庫・庫	123	4,945	2,087	480		7,635
取蔵棟	1,416					1,416
研修その他	1,745	2,131	251	1,062	36	5,225
計	6,793	10,632	3,082	2,682	36	23,225

奈良国立文化財研究所要項

**建 物(2)**

重要文化財旧米谷家住宅	213m <sup>2</sup>
郡山宿舎(一), (二)	153m <sup>2</sup>
飛鳥資料館宿舎	225m <sup>2</sup>
施設総計	23, 816m <sup>2</sup>

**主要工事**

<b>(1) 施設整備費</b>	
飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺物倉庫新営工事	千円 5, 118
奈良国立文化財研究所覆屋改修工事 (建設省委任工事)	20, 000
<b>(2) 平城宮跡地等整備費</b>	
平城宮跡環境整備工事	3, 900
“ “ 昭和58年度第Ⅰ期工事	35, 000
“ “ “ 第Ⅱ期工事	118, 000
“ “ “ 第Ⅲ期工事	33, 000
平城宮南面大垣復原工事	95, 000
平城宮跡地形調査工事	1, 930
<b>(3) 各所修繕</b>	
平城宮跡資料館屋根塗装工事	5, 950

**Ⅶ 人事異動**

(1983年4月1日～1984年3月31日)

4月1日	庶務部会計課長に昇任	
	松本 保之	
	庶務部庶務課警務員長に昇任	
	森田 光治	
	山梨大学庶務課長に転任	
	三森 武雄	
	東北大学文学部助教授に転任	
	今泉 隆雄	
	文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官に転任	加藤 允彦
	国立三瓶青年の家庶務課に転任	
	津村 広志	
	平城宮跡発掘調査部主任研究官に転任	
	高瀬 要一	
	庶務部庶務課長に配置換	
	笹山 保美	
	歴史研究室長に配置換	
	鬼頭 清明	
	平城宮跡発掘調査部考古第二調査室に配置換	山崎 信二
	藤原宮跡発掘調査部考古第二調査室に配置換	立木 修
	埋蔵文化財センター研究指導部集落遺	

	跡研究室に配置換	上原 真人
	辞職	
		木寅 忠雄
	平城宮跡発掘調査部史料調査室に採用	
		橋本 義則
		寺崎 保広
	事務補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査部)に採用	大西 洋子
7月1日	平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任	亀井 伸雄
10月1日	埋蔵文化財センター研究指導部発掘技術研究室長に昇任	西村 康
11月1日	庶務部庶務課庶務係長に昇任	田部 信重
		大阪大学溶接工学研究所共同利用掛長に転任
1月1日	平城宮跡発掘調査部史料調査室に採用	藤原 賢二
		館野 和己
2月1日	辞職	
		藤田 広幸
3月1日	辞職	
		藤田千賀枝
3月31日	辞職	
		亀井 伸雄

**Ⅷ 組織規定**

**文部省組織令 抜萃**

昭和59年政令第127号  
昭和59年7月1日全部改正

第108条

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。

国立文化財研究所(前後略)

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は、文部省令で定める。

**文部省設置法施行規則 抜萃**

- 昭和28年1月13日文部省令第2号
- 追加昭和43年6月15日文部省令第20号
- 昭和45年4月17日文部省令第11号
- 昭和45年4月12日文部省令第6号
- 昭和49年4月11日文部省令第10号
- 昭和50年4月2日文部省令第13号
- 昭和51年5月10日文部省令第16号

昭和52年4月18日文部省令第10号  
 昭和53年4月5日文部省令第19号  
 昭和53年9月9日文部省令第33号  
 昭和55年4月5日文部省令第14号  
 昭和55年6月25日文部省令第23号  
 昭和58年10月1日文部省令第25号  
 昭和59年7月1日文部省令第37号

第5章 文化庁の施設等機関

第4節 国立文化財研究所

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東京都台東区
奈良国立文化財研究所	奈良県奈良市

第2款 奈良国立文化財研究所  
(所長)

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は所務を掌理する。  
(内部組織)

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

(庶務部の分課及び事務)

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

- 一 庶務課
- 二 会計課

2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

- 一 職員の人事に関する事務を処理すること。
- 二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。
- 三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。

四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。

五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。

六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

3 会計課においては、次の事務をつかさどる。

- 一 予算に関する事務を処理すること。
- 二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。
- 三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処

理すること。

四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。

五 庁内の取締りに関すること。

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第六項までに定める事務を処理するほかその発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第五項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

- 5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

- 2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。

- 3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。

- 一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。
- 二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。
- 三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

- 一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。
- 二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。
- 三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

- 2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

- 2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

- 3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

- 4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

職員 (1984年7月1日現在)

所属	氏名	官職	担当	
	坪井 清足	文部技官 所長		
庶務課	大村 幸男	文部事務官 部長		
	篠山 保美	文部事務官 課長	庶務人事 備員	
	織田 健藏	文部事務官 課長補佐	警務警写 備員	
	田部 信重	文部事務官 庶務係長	警務警写 備員	
	西 森田 光治	文部事務官 警務員	警務警写 備員	
	岡田 博丸	文部技官 警務員	警務警写 備員	
	八幡 雅子	文部技官 警務員	警務警写 備員	
	村田 悦子	事務補佐員	警務警写 備員	
	新宮 恵子	事務補佐員	警務警写 備員	
	宮本 宣代	事務補佐員	警務警写 備員	
	中川 かよ	事務補佐員	警務警写 備員	
	中垣 睦美	事務補佐員	警務警写 備員	
	福本 良子	事務補佐員	警務警写 備員	
	會計課	松本 保之	文部事務官 課長	藤原事務 整理係長
		藤島 郁夫	文部事務官 課長補佐	藤原事務 整理係長
西田 健三		文部事務官 専門職員	藤原事務 整理係長	
渡辺 勝彦		文部事務官 経理係長	藤原事務 整理係長	
小林 雅文		文部事務官 経理係長	藤原事務 整理係長	
前川 重子		事務補佐員	藤原事務 整理係長	
菊本 洋子		事務補佐員	藤原事務 整理係長	
橋元 敬子		事務補佐員	藤原事務 整理係長	
新井 耕治		事務補佐員	藤原事務 整理係長	
浅井 正彦		文部技官 警務員	藤原事務 整理係長	
中野 建夫		文部技官 警務員	藤原事務 整理係長	
垣内 よえ		事務補佐員	藤原事務 整理係長	
永田 季史		事務補佐員	藤原事務 整理係長	
渡辺 康義		文部技官 警務員	藤原事務 整理係長	
吉村 大西		文部技官 警務員	藤原事務 整理係長	
建造物研究室	吉田 靖	文部技官 室長	建築庭園 遺跡建築	
	高瀬 要一	文部技官 (非常勤)	建築庭園 遺跡建築	
	清水 真一	文部技官 (非常勤)	建築庭園 遺跡建築	
歴史研究室	頭立 清	文部技官 室長	歴史考古 史跡史	
	上原 真	文部技官 (非常勤)	歴史考古 史跡史	
	永省 三	文部技官 (非常勤)	歴史考古 史跡史	
	橋本 義明	文部技官 (非常勤)	歴史考古 史跡史	
	野和 春	文部技官 (非常勤)	歴史考古 史跡史	

所属	氏名	官職	担当
平城宮跡発掘調査室	岡田 英男	文部技官 部長	考古 古蹟
	工藤 善通	文部技官 室長	考古 古蹟
	桑村 省三	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	岩谷 裕之	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	金子 扶桑	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	八幡 幹雄	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	吉村 朗子	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	石川 恵子	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	森田 郁夫	文部技官 室長	考古 古蹟
	千田 剛信	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	山崎 淳一	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	巽 弘海	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	山本 忠高	文部技官 室長	考古 古蹟
	杉山 芳樹	文部技官 (併任)	考古 古蹟
	深澤 光俊	文部技官 (併任)	考古 古蹟
毛利 彦彦	文部技官 (併任)	考古 古蹟	
遺構調査室	宮本 長二	文部技官 室長	建築庭園 遺跡建築
	松本 修一	文部技官 (併任)	建築庭園 遺跡建築
	岸上 常一	文部技官 (併任)	建築庭園 遺跡建築
	野上 邦一	文部技官 (併任)	建築庭園 遺跡建築
	田中 哲雄	文部技官 室長	遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園
	本中 要一	文部技官 (非常勤)	遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園
	高瀬 正	文部技官 (非常勤)	遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園
	村岡 要一	文部技官 (非常勤)	遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園 遺跡庭園
	綾村 宏	文部技官 室長	歴史
	佐藤 義則	文部技官 (併任)	歴史
	橋本 保広	文部技官 (併任)	歴史
	崎野 和己	文部技官 (併任)	歴史
	細見 啓三	文部技官 主任研究官	建築庭園 遺跡庭園 備員
	上野 一	文部技官 主任研究官	建築庭園 遺跡庭園 備員
	金子 裕弘	文部技官 主任研究官	建築庭園 遺跡庭園 備員
西光 俊彦	文部技官 主任研究官	建築庭園 遺跡庭園 備員	
毛瀬 要一	文部技官 主任研究官	建築庭園 遺跡庭園 備員	
森田 光治	文部技官 主任研究官	建築庭園 遺跡庭園 備員	
岡田 博丸	文部事務官 主任研究官	建築庭園 遺跡庭園 備員	

所属	氏名	官職	担当
飛鳥資料館	狩野 久	文部技術官 部長	
	佐藤 典治	文部技術官 室長	考古古建築
	藤本 興圭	文部技術官 室長	考古古建築
	土肥 圭孝	文部技術官 室長	考古古建築
	清水 真直	文部技術官 室長	考古古建築
	木下 正史	文部技術官 室長	考古古建築
	大脇 聡生	文部技術官 室長	考古古建築
	西田 寿征	文部技術官 室長	考古古建築
	田辺 征夫	文部技術官 室長	考古古建築
	村上 翻一	文部技術官 室長	考古古建築
	上本 正二	文部技術官 室長	考古古建築
	越川 俊一	文部技術官 室長	考古古建築
	加藤 優修	文部技術官 室長	考古古建築
	立木 正明	文部技術官 室長	考古古建築
菅原 龍太郎	文部技術官 室長	考古古建築	
菅原 正夫	文部技術官 室長	考古古建築	
田越 俊一郎	文部技術官 室長	考古古建築	
安田 健太郎	文部技術官 室長	考古古建築	
飯田 信三	文部技術官 室長	考古古建築	
大西 洋子	文部技術官 室長	考古古建築	
稲垣 耕正	文部技術官 室長	考古古建築	
望月 正治	文部技術官 室長	考古古建築	
宮川 伴二	文部技術官 室長	考古古建築	
泉 雄志	文部技術官 室長	考古古建築	
滝本 正幸	文部技術官 室長	考古古建築	
高野 守学	文部技術官 室長	考古古建築	
坪井 清足	文部技術官 室長	考古古建築	
日高 参夫	文部技術官 室長	考古古建築	
松田 正信	文部技術官 室長	考古古建築	
飯田 信三	文部技術官 室長	考古古建築	
米田 二徳	文部技術官 室長	考古古建築	
村谷 義照	文部技術官 室長	考古古建築	
乾 春雄	文部技術官 室長	考古古建築	
藤本 清子	文部技術官 室長	考古古建築	
福井 敏子	文部技術官 室長	考古古建築	

所属	氏名	官職	担当
飛鳥資料館	猪熊 兼勝	文部技術官 室長	考古古建築
	小林 謙和	文部技術官 室長	考古古建築
	上井 和人	文部技術官 室長	考古古建築
	藤沢 一夫	文部技術官 室長	考古古建築
	田中 琢	文部技術官 センター長	事務
	若井 明博	文部事務官 室長	事務
	刀谷 弘美	文部事務官 室長	事務
	宮崎 佐員	文部事務官 室長	事務
	佐原 真	文部技術官 部長	建築
	松沢 亜生	文部技術官 室長	考古古建築
	山中 敏史	文部技術官 室長	考古古建築
	町田 章人	文部技術官 室長	考古古建築
	上原 真人	文部技術官 室長	考古古建築
	西村 康章	文部技術官 室長	考古古建築
松井 隆	文部技術官 室長	考古古建築	
沢田 正昭	文部技術官 室長	保存科学	
秋山 隆保	文部技術官 室長	保存科学	
木全 敬蔵	文部技術官 室長	測量	
光谷 拓太	文部技術官 室長	測量	
伊松 作章	文部技術官 室長	測量	
安原 啓示	文部技術官 室長	測量	
内田 昭人	文部技術官 室長	測量	
伊東 太作	文部技術官 室長	測量	
山中 敏治	文部技術官 室長	測量	
杉田 繁之	文部技術官 室長	測量	
栗田 靖之	文部技術官 室長	測量	
岩本 次郎	文部技術官 室長	歴史	
中川 隆	文部技術官 室長	歴史	

